



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰 教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電 話 (018) 834-3443
 F A X (018) 834-3444
<http://www.miyoshi.or.jp>



令和6年三吉梵天祭

宮司 田村 泰 教

全国ニュースを賑わせた秋田におけるスーパードラのクマの立て籠り。捕獲された後も別の個体の目撃情報が相次ぎ、本来、山で冬眠するはずのクマが師走の街を闊歩する（かつほ）という、何とも信じ難い出来事が現実（じつじ）に起きている。▽異変は陸だけではなく。北海道では、イカやサケにかわってブリの豊漁が話題となり、宮城沖ではイセエビやノドグロが増えるなど、海水温の上昇により、海にも大きな変化が生じている。▽「前代未聞の」「これまでに経験したことのないような」「記録的な」・・・この類の形容詞が、決して良い方向ではない使われ方で頻出するようになったのは、いつ頃からだろうか。▽いずれにしろ、現代は様々な意味で人類にとって未曾有の時代。未経験の、驚くような自然現象が、これからも次々と起こるだろう。▽せめて幾らかでも、豊かな自然環境を引継ぎ、次の世代が、永く普通の暮らしを安心して営んでいけるように。我々現役世代の責任は重い。

令和七年が、大きな災害や事故のない穏やかな年となりますように。皆さまのご健勝と、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

雅楽から生まれた言葉

権禰宜 本庄 泰孝



雅楽は千二百年以上の長い歴史を持ち、非

常に優美な音楽として現在でも演奏されています。古代の

中国大陸から唐楽・天竺楽（インド）・林邑楽（ベトナム）、朝鮮半島から高麗楽・渤海楽などが日本に伝わり、日本古来の歌舞と共に大宝律令が制定された西暦七〇一年頃から、宮廷の音楽として整理されはじめました。

日本人の心にあうように整理された雅楽は現在でも宮中行事の際や神社の祭典音楽として演奏されるほか、「世界最古のオーケストラ」とも称され、海外公演を行うこともある、日本の誇るべき芸能の一つです。

とは言い、雅楽に触れることはなかなか無いかと思えます。しかし、わたしたちが普段使っている言葉の中にも雅楽に由来するものが数多くありますので、今回いくつか紹介してみようと思います。

○「打ち合わせ」・「打ち止め」

物事がスムーズに進むよう事前に相談や確認をするときに「打ち合わせ」をしますが、この言葉は雅楽の合奏をするときに、打楽器でテンポを確認しながら他の楽器と合わせることを「打ち合わせ」と言っていたことから生まれた言葉です。

「打ち止め」は演奏を途中で終えるときに打楽器が合図を出すことから「打ち止め」と言い、物事を終わりにすることを「打ち止めにする」と言うようになったそうです。

○「千秋楽」・「太平楽」

雅楽の曲目「千秋楽」は仏教の法要の最後に演奏されたことから、相撲や興行の最終日を「千秋楽」と呼ぶようになったそうです。

同じく曲目「太平楽」は勇ましくも優美な舞を伴う曲で、雅楽の中でも特にゆつたりとして悠長な曲であることから、勝手気ままに悠長にしている人を「太平楽な人だ」と言うようになったそうです。

○コツをつかむ

雅楽の楽器「笙」には「乞^{コツ}」という音があり、乞の音を出すための穴を指で押さえる必要があります。この穴は左手薬指を伸ばして押さえるため非常に難しく、慣れるには時間がかかるため、要領を得る・要点をつかむことを「コツをつかむ」というようになったようです。

○やたらと

雅楽の拍子には二拍子と三拍子が混

ざった「夜多羅拍子^{やたら}」という特殊な拍子があります。演奏者が慣れないうちは拍子が安定しないことから、秩序や節度がないことを「やたら」というようになったそうです。

これらの他にも「ろれつが回らない」「トチる」「二の句がつけない」「オツ」「二の舞」など、多くの言葉が雅楽由来のもので、長い歴史の中で多くの人に親しまれてきた雅楽だからこそ、多くの日本語の語源となったのかもしれない。

私たち神職は神様にお喜びいただくため、祭典楽として雅楽を演奏することがございます。機会がありましたらぜひ、耳を傾けてみてください。



箏・太鼓・鉦鼓

みよしスケッチ



秋季例大祭
十月十六日・十七日



古くなった印鑑や表札を供養いたしました。

印章供養祭
十月一日



愛着のある人形に感謝を捧げる神事を行いました。

人形感謝祭
十月一日



七五三詣



第十九回三吉節全国大会
八月七日



令和七年三吉梵天祭の打合せを行いました。

三吉梵天祭打合せ会 十一月七日



村梵天奉納打合せ 十一月十日



神宮大麻頒布始奉生祭 春祈禱打合せ 十一月十四日



自衛警備隊総会 十一月二日



神社協力会打合せ 十一月十六日



協会会境内整備作業 十一月十六日



秋田大学教育文化学部 附属中学校職場体験 十一月五日



神符守札遷霊清祓式 十一月七日

年末年始のお参りについて

当社では昨冬より通常の体制で年末年始の諸行事を行っておりますが、インフルエンザも流行期を迎え、また新型コロナウイルス感染症も終息には至っておりませんので、特に障害や持病をお持ちの方やご高齢の皆さま、また妊産婦の方々には、十分にご注意の上、お参り頂きますようご案内申し上げます。

●感染対策などについて

- ・ 社屋内各所に、引続き空間除菌機と加湿器を設置しております。
- ・ ご希望の方用に、手指消毒用のアルコールを準備しております。
- ・ 厳冬期、手水舎を閉鎖いたします。
- ・ 祈祷の際は、係の誘導に従い適度な距離を空けてお座り頂きます。
また、祈祷の際は、玉串拝礼後に順次ご退出頂く場合がございます。

●お守り・お札の授与について

- ・ 新年のお札・お守り・縁起物は、既に授与を開始しております。
- ・ 12月21日～1月13日の間は、神社正面向かって右側の臨時授与所を開設いたします
- ・ その他、神社正面階段下（元旦～3日）と東側武道場（元旦～5日）にも授与所を設けますので、空いている所をご利用下さい。
- ・ 人件費と材料費の値上がりに伴う奉製費（製作費）の高騰を受け、一部授与品の授与料が改定となっております。また令和7年4月より各種守札類の授与料も改定となる予定でございます。
何卒、特段のご理解のほど、切にお願い申し上げます。

●各種ご祈祷について

- ・ 個人やご家族で祈祷を受けられる方は、仕事始めの期間（特に1月6日・7日）は極力お避け下さいませ。
- ・ 諸事情によりご参拝が叶わない方は、各種通信祈祷をご利用頂くことも可能です。
- ・ 団体毎にご着席頂きます。
- ・ 企業や団体の皆さまのご祈願祭は、仕事始めの（1月6日～8日）の期間は、各団体5名様までの参列とさせていただきます。その他の日で人数が多い場合は、各時間帯の〇〇時30分開始でお申込み下さい。（その他の日のご参拝については、お問合せ下さい）

《ホームページからの祈祷・授与品のお申込み》

諸事情によりご参拝が叶わない皆さまの篤いご崇敬の念に応えるため、下記の通りHPからの各種お申込みも承っておりますので、お気軽にご利用下さいませ。

※詳しくは神社ホームページ (<http://:miyoshi.or.jp>) もしくは
右記QRコードからご覧下さい。



◀HPからの
お申込み

追悼

責任役員

深谷 裕一様

（令和六年九月二十六日帰幽 享年九十二歳）

当社の講社会長等を歴任され、自治体職員の内職を歴任され、責任役員として積極的にご尽力を頂きました。

責任役員

志田 豊忠様

（令和六年十月九日帰幽 享年八十二歳）

累代の崇敬者として信仰の念篤く、毎月十七日の参拝を欠かさず、ご先代に続いて責任役員をお務め頂きました。（料亭志田屋経営）



厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

令和7年 乙巳(きのとみ) 厄年・年祝い一覧

	干支	男性	女性	年齢(かぞえ)
昭和 2年生	卯(うさぎ)	白 寿(はくじゅ)		99歳
昭和11年生	子(ねずみ)	卒 寿(そつじゅ)		90歳
昭和13年生	寅(とら)	米 寿(べいじゅ)		88歳
昭和21年生	戌(いぬ)	傘 寿(さんじゅ)		80歳
昭和24年生	丑(うし)	喜 寿(きじゅ)		77歳
昭和31年生	申(さる)	古 稀(こ き)		70歳
昭和39年生	辰(たつ)	後 厄		62歳
昭和40年生	巳(へび)	還 暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和41年生	午(うま)	前 厄		60歳
昭和58年生	亥(いのしし)	後 厄		43歳
昭和59年生	子(ねずみ)	大 厄	厄	42歳
昭和60年生	丑(うし)	前 厄		41歳
昭和63年生	辰(たつ)		後 厄	38歳
昭和64年・平成元年生	巳(へび)	厄	大 厄	37歳
平成 2年生	午(うま)		前 厄	36歳
平成 4年生	申(さる)		後 厄	34歳
平成 5年生	酉(とり)	厄	大 厄	33歳
平成 6年生	戌(いぬ)		前 厄	32歳
平成12年生	辰(たつ)	後 厄		26歳
平成13年生	巳(へび)	大 厄	厄	25歳
平成14年生	午(うま)	前 厄		24歳
平成18年生	戌(いぬ)		後 厄	20歳
平成19年生(成人)	亥(いのしし)	厄	大 厄	19歳
平成20年生	子(ねずみ)		前 厄	18歳
平成25年生	巳(へび)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えるところの年をとります。



どんど祭

1月26日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のつかない方は、事前に古神札納所にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物・写真など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は10月1日の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

令和7年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(水)	午前零時	歳旦祭	新年の始まりに国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月19日(日)	神事 午前6時	梵天祭	1年の無病息災と安泰を祈り、梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事(8頁参照)
	奉納 午前10時半~正午		
1月26日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札やお守、お正月の縁起物などをお焚上げいたします(6頁参照)
2月2日(日)	午前10時	節分祭	季節の変わり目にあたり、身体健やかに、心穏やかに、過ごせますよう福豆をまき供えて除災招福を祈ります
2月11日(火)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、国の弥栄と世界の平和を祈念いたします
5月7日(水)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡を始め家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(木)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(月)	午後3時	夏越の大祓	一年の上半期締めくくりに、身に積もった罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを祓い清め、心清々しく令和五年を迎え、穏やかな一年になることを祈ります。
ご多用とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

一、日時 十二月三十一日(火) 午後二時
一、於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。



※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



厳寒の一頁
雪国の静寂を打ち破って
藤田調治・秋田の行事にも
描かれた秋田の冬の風物詩
「ぼんでん」が行われる。
力の神、陽の神を祀る
太平山三吉神社の
例祭に奉納される梵天は
六十本糸り。
意匠をこした梵天は、
数十人の力もちを従え、
雪の町を練った後、
入りに押し負け大きらいと
三百節も高らかに、
法蓮貝とジョヤザの掛け声か
勇ましく響くなか、
万を越す観衆の前へ。
十糸りの足音が踊り乱れ、
男たちは激しくなって激しくもたぎる。
一年の辛を謳う熱い祭は、
今年も一足早い春を呼ぶ。

令和7年
1月19日

●奉納時間：午前10時30分～正午
※小さなお子さま全員にお守りを差し上げます

梵天祭

秋田市赤沼
三吉



④「下北手安全会」
梵天奉納は各町内で奉納していましたが、年々若者や参加者が減少し地域の梵天奉納する町内が無くなり、平成25年に梵天奉納経験者等が地域の伝統継承と絆を守るため、梵天復活の気運が高まり、下北手各町内の支援を受けて、「地域の安全と五穀豊穣」を願い復活し、正月にはお披露目しています。
奉納当日は、皆「下北手」の名入り半纏を着て谷内在野に村祭天仲間に梵天札をふっつけ合い、三吉節を歌い交わす一体になり三吉神に梵天を奉納しています。



⑤「JR秋田統括センター梵天」
JR秋田駅では秋田駅の商業繁盛、安全祈願のため、毎年梵天を奉納してよります。
JR東日本では社会的に組織再編を行っており、JR秋田駅も2024年3月で組織が変わりました。秋田駅の駅員は秋田統括センター所属の駅員として秋田駅でみなさまをお待ちしております。JR秋田駅統括センター「梵天」と運転士、車掌と共に、商売繁盛、列車の安定運行、安全を祈願して奉納いたします。



梵天奉納団体のご紹介